



D.I. 質問箱

Q20

マイコプラズマ検査について、「総合検査案内」と「検査依頼書」とで記述が違うので説明してください。

[総合検査案内] マイコプラズマニューモニエ [CF 法]
マイコプラズマ抗体(ニューモニエ) [PA 法]
[検査依頼書] マイコプラズマ [PA 法]

A20

検査依頼書上のマイコプラズマは PA 法を指しています。

CF 法のご依頼の際は、検査依頼書の欄外項目に「マイコプラズマ CF 法」とご記入ください。

PA 法	主として IgM 抗体が測定される。 1 病週より抗体上昇し、2～6 週目にピークに達する。以後急速に低下する。
CF 法	主として IgG 抗体が測定される。 7～10 病日で抗体上昇し、3～4 週目でピークとなる。 数ヶ月にわたりある程度高い抗体価が持続する。

※シングル血清の場合には、採血時期にもよりますが、CF 法では 64 倍以上、PA 法では 160～320 倍以上で陽性と考えます。

お問合せ：学術データインフォメーション（DI）まで
0120-14-8734（フリーダイヤル） / 082-247-4325（ダイヤルイン）



きやうぽーい

新年明けましておめでとうございます。

今月号より『検査センターだより』のデザインを一部リニューアルしていますが、いかがでしょうか。

本誌を創刊したのが 30 数年前の昭和 40 年代後半。当時は不定期に発刊していましたが、昭和 55 年頃より月刊誌として定着したようです。当時の色褪せた誌面には、集荷が自転車 3 台でスタートしエリアを拡張していったことや、今はなき運動会や文化祭の記事が掲載されています。

30 年以上続いているタスキをリレーするのは重責だなっ…とふと感じました。（新年からプレッシャーを感じているのは私だけでしょうか？）



中村 賢作

広報委員

松本 道雄 / 藤本 誠 / 伊丸 直樹 / 中村 賢作 / 渡川 美弥子 / 初岡 博